



お客さまとのかかわり



技術開発とモノづくりを基本として、品質を第一に考え、常に世界中のお客様に満足される魅力のある製品、システム、サービスを提供します。

サンデングループは社是のひとつに「顧客のためになるよい製品を作ります」を掲げています。魅力のある製品、システム、サービスを常にお客さまに提供し続けるというお客さま第一の精神を実践しています。

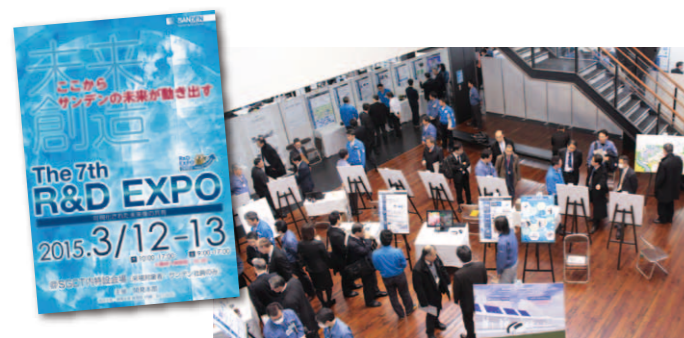
R&D EXPO開催

サンデンでは2008年度より、「技術者のやりがい創造と事業を超えた交流」「開発テーマの理解によるビジネス創造」を目的として、毎年R&D EXPOを開催しています。今年度は「未来を具現化した姿を共有 ～サンデンの未来創造～」をコンセプトに4つの先行開発の技術テーマを展示し、2日間で840人が来場しました。

STQM世界大会 上海で開催

独自の全社的品質革新活動(STQM)を毎日積み重ねることにより、経営品質、製品品質の向上を図り、お客さまにエクセレンスをお届けします。2014年10月に中国の上海で「第8回STQM世界大会」を開催しました。

STQM活動の一環である小集団活動は、海外23カ国・地域54拠点で1,200サークルが活動しています。各地域予選を勝ち抜いた10カ国から15サークルが出場し、グランドチャンピオンを決定しました。



社外からの評価

ゼネラルモーターズさまより「2014サプライヤー・クオリティ・エクセレンス・アワード」受賞

GM(ゼネラルモーターズ)さまより「2014サプライヤー・クオリティ・エクセレンス・アワード」を受賞しました。昨年に続き2回目の受賞となります。この賞は、GMさまが独自の基準で各サプライヤーの品質に点数を付け、過去1年の品質Scoreが「100点満点」のサプライヤーを選出します。GMさまがサプライヤーに工場単位で与える品質に関する賞の中では最高峰の賞です。



フランス共和国より「レジオン・ドヌール勲章 オフィシエ受章

2015年3月、当社会長の牛久保雅美が「レジオン・ドヌール勲章 オフィシエ」を受章しました。2000年の「シュヴァリエ」に続いての受章です。1995年のフランス工場建設をはじめ、2014年にはレンヌに、2015年にはパリに営業拠点を設立するなど、当社はフランスで幅広く事業を行っています。また、牛久保は群馬日仏協会の会長を務めるなど、長年にわたる日仏関係の強化、両国の文化交流の発展に大きく貢献したことが評価されました。



株主・投資家とのかかわり



会社を成長させ企業価値を高めるとともに、経営の透明性向上により、株主・投資家の信頼と期待に応えます。

サンデングループは、株主や投資家の皆さまに長期的にご支援いただくため、投資判断に有益な会社状況について説明責任を遂行することが重要であると考えています。

社外取締役を増員

サンデンのステークホルダーである一般の株主および金融機関・機関投資家など法人株主の皆さまの信頼と期待に応えるには、会社資産をしっかりと管理し、その保全・拡大に努め、常に経営の向上を図っていくことが重要であると考えています。

サンデンホールディングス株式会社として2015年6月に初めて開催した株主総会においては、コーポレート・ガバナンスの強化を図るため、社外取締役を1名から2名に増員しました。株主の皆さまに対しては、連結業績の状況を勘案して、基本的に安定的な配当の維持、継続を実施しています。

2014年度については、1株当たり年間10円の配当を実施しました。

“交流”を通じてIR活動を拡充

四半期ごとに「決算短信」を和文と英文で発行しているほか、「有価証券報告書」に加えて英文の「Annual Report」を発行しています。さらに第2四半期と第4四半期については、決算説明会を行うとともに発表資料(和文・英文)を当社Webサイトに掲載しています。

また、海外の金融機関・機関投資家を訪問し、サンデンの経営の考え方や今後の見通しについて社長より説明しています。

また、日本においては、スモールミーティングを年間およそ120回開催しています。



サンデンフォレスト・赤城事業所が「体験の機会」に認定

2014年8月、サンデンフォレスト・赤城事業所が、環境教育等促進法に基づく環境教育の「体験の機会」に認定されました。国内では7事例目となります。この認定は、年間を通じて様々な自然体験ができる環境教育プログラムが展開されていることや、自動販売機や冷凍・冷蔵ショーケースの工場見学ができること、さらに敷地内には日本自動販売機工業会の「わくわく自販機ミュージアム」も併設するなど、様々な切り口で「環境学習」ができることが評価されたものです。

MS-SRIの構成銘柄に採用



サンデンはモーニングスター株式会社のSRI(社会的責任投資)インデックスである「モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRI)」の構成銘柄に採用されています。「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業約4,000社の中から、社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した社会的責任投資株価指数です。

地域社会とのかかわり



世界各地の慣習や文化を尊重するとともに、地域社会の発展や文化の向上に貢献します。

サンデングループは様々な活動を通じて地域社会と深くかかわり、企業市民としての役割を果たしています。「社会との共生」を基本に据えて地域社会との関係づくりに努めています。

伊勢崎市の中学生との交流会

Sanden International (U.S.A.) Inc. (アメリカ)は、サンデンの創業の地である群馬県伊勢崎市の中学生と現地社員との交流会を2013年度から実施しています。2014年度は、訪問に先立ち事前学習や、ライブ中継によるコミュニケーションを行い、双方が理解を深めました。



SIA担当者



地元の小学生にCSR教育を実施

SandenVendo Europe S.p.A. (イタリア)は、CSRプログラムとして地元の小学生を対象とした教育を行っています。この取り組みは、地元の小学校とプロジェクトを組み、持続可能な行動について学ぶことを目的として、出前授業や工場見学を行っているもので、毎月実施しています。



学校修復の義援金を寄付

Sanden (Thailand) Co., Ltd. (タイ)は、お取引先とのチャリティゴルフトーナメントを開催し、地域貢献の一環として、その収益をアユタヤの学校に寄付しました。寄付金はインフラ整備が行き届かない学校の修復に活用され、古い建物が新しく生まれ変わりました。



修復前



修復後

チャリティーイベントで養護施設の子どもたちをサポート

Sanden Manufacturing Poland sp. z o.o. (ポーランド)は、養護施設の子どもたちのためのチャリティーイベントを開催しました。養護施設の関係者のほか、取引先や近隣の企業、地域住民らを招き、養護施設の子どもたちが描いた絵を販売しました。絵の売上金は子どもたちの夏の旅行の費用に充てられます。

バレーボール教室で復興を支援

サンデンバレーボール部員男女が、福島県相馬市の「バレーボール教室」で実技指導を行いました。



この「バレーボール教室」は、東日本大震災復興支援として毎年実施しています。

Web
<http://www.sanden.co.jp/environment/activity.html>

取引先とのかかわり



取引先とは公正かつ透明な取引関係に基づき、お客様に対し最高の製品、システム、サービスを提供できるビジネスパートナーとして、ともに成長します。

グローバルに展開するサンデングループの継続的発展には、競争力のある材料・部品が不可欠です。お取引先とは、真のビジネスパートナーとして信頼関係の構築に努めています。

CSR調達の展開

サンデンは、2010年度に「グリーン・サプライ・ガイドライン」を制定し、サプライチェーン全体での環境対応を開始しました。さらに、CSR調達についても取引基本契約書へ盛り込み、2014年3月より展開しました。

お取引先への要求事項

- ① 環境・人権など企業の社会的責任への対応
- ② 自然災害等に対する事業継続計画への対応
- ③ マネジメントシステム (品質、環境、化学物質) 等への対応

開発部門との連携

2014年度からの新たな活動として、モノづくり革新(お取引先とともに、モノづくり力を底上げすること)を目的として、「強み・自慢技術提案会」を実施しています。これは、製品の企画から開発、生産の過程で発生する“困りごと”を共有し、新製品や新素材、新工法などの視点から改善提案をしていただくことで、競争力のある製品開発を行う取り組みです。

2014年度は、159件の提案があり、改善テーマとして具体化していきました。その中でも特に優れた内容のご提案をいただいた2社については「優秀事例」として「G-CF会」(グローバルのお取引先に対する感謝会)の場で発表していただきました。今後は、テーマごとに技術交流や目標設定等を行っていきます。

お取引先への感謝を込めて「G-CF会」を開催

サンデングループは、ビジネスパートナーであるお取

引先へ全社経営方針説明、将来の研究開発方針の説明を行い、グローバルでの成長戦略と経営活動への理解、強固なパートナー関係を構築していくとともに、日々の生産活動とサンデン製品の拡販活動に対する感謝を込めて、「G-CF会」を毎年開催しています。

2015年2月に開催したG-CF会では、MPS会会員のお取引先84社のうち72社、海外の優良お取引先16社、サンデン推薦6社の合計94社、192名の皆さまにご参加いただきました。また、2014年度にサンデングループに貢献いただいたお取引先18社に対し、感謝状の授与を行いました。



2015年 サンデンG-CF会

MPS会の取り組み

「MPS会」とは、国内の主要なお取引先で構成されている相互研鑽、基盤強化を目的とした協力会です。全9分科会に分かれ、年度ごとに設定するテーマに対し、年2回の活動報告会を実施しています。

Web
<http://www.sanden.co.jp/csr/disp.cgi?mode=detail&id=4>

社員とのかかわり



挑戦と改革の企業文化を基本として、人間性尊重の精神に溢れた自由闊達な組織文化を築き、社員とともに成長していきます。

サンデングループは、社員が能力を最大限に発揮できるような職場環境を整備することが、企業としての成長につながるかと考えています。そのためにも、社員の心身の健康保持と徹底した労働安全衛生の確保に努めつつ、多様な社員が安心して業務に取り組めるよう職場環境づくりに注力しています。

ダイバーシティへの取り組み

サンデングループが考えるダイバーシティとは「多様性、違いを認めて活かすこと」であり、多様性とは国籍や性別、年齢、宗教、障がいの有無といった個人にかかわる様々な違い



ダイバーシティ担当者

を指します。サンデンではこれまでもこうした違いを活かしつつ、多様な人材が能力を最大限に発揮できるような仕組みづくりを進めてきましたが、企業としてこれからはさらに発展していくためには、より一層のダイバーシティ活動をグローバルに推進していくことが不可欠だと考えています。

サンデングループのグローバル展開をけん引する役割を担う本社(日本)としては、大きく変わっていかなくてはなりません。そこで、ダイバーシティの大きなテーマのひとつである「女性活躍の推進」に本格的に取り組んでいます。これは、女性が輝く企業になるということが、誰もが輝く企業になることにつながるの考えからです。

活動のキックオフとして、2014年12月に「サンデン女性フォーラム」を開催し、創業の精神に基づく「サンデンダイバーシティ活動宣言」を発表し、具体的な数値目標として「2020年までにリーダー的役割の女性比率12%」(2016年度:4%、2017年度:5%、2018年度:7%、2019年度:9%)を設定しました。

サンデン ダイバーシティ活動宣言

当社は、創業の精神「知を以て開き 和を以て豊に」に基づき、ダイバーシティ・マネジメントをグローバルで推進します。
これは、中期目標達成に向けた重要な戦略の一つです。
全ての人の人権を尊重する企業文化を構築し、性別、人種、民族性、宗教、年齢、身体能力、その他個性を尊重します。
多様な価値観・働き方から生まれる様々な「知」を結集し、「和」を以て成長につなげ、「誰もが輝く会社」を目指します。
その第一歩として、女性社員の採用の拡大と計画的な育成を進め、2020年までにリーダー的役割の女性比率12%を目標に女性の活躍を推進します。

2014年12月4日
サンデン株式会社 代表取締役社長 山本 満也

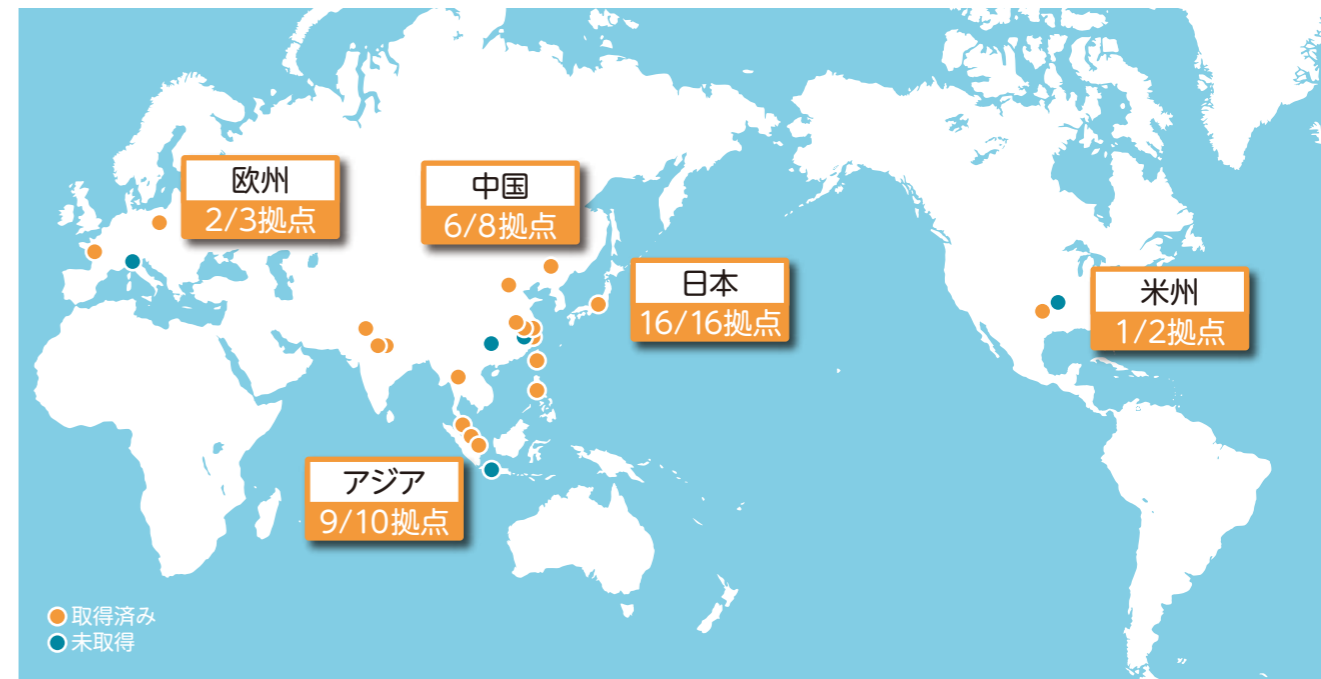
2014年12月に発表した「サンデンダイバーシティ活動宣言」

この数値目標は挑戦的な設定となっており、現在の状況を維持したままです。これを達成するのは非常に困難です。目標達成のためには会社としての体質をも変えていかなくてはならず、経営者、管理職、社員が一丸となって意識改革に取り組んでいきます。

サンデンホールディングスが掲げる女性の活躍推進に関する3つの目標

- ① 最終目標 差別なく誰もがセンスを活かして輝く会社
(女性が働きやすい職場は、男性も外国人も誰もが働きやすい)
- ② 数値目標 2020年までにリーダー的役割の女性比率12%
- ③ 対外的目標 「なでしこ銘柄」等
(東京証券取引所/経済産業省)

グローバルでのOHSAS取得状況



国際規格「OHSAS 18001」への取り組み

サンデングループは労働安全衛生に対する抜本的な体質改善を図るため、2012年1月から国際規格「OHSAS 18001」の認証取得活動を進めています。2015年5月現在、国内は全16拠点で取得、海外は23拠点中18拠点で取得しました。未取得の拠点も引き続き認証取得に向けて活動を行っていきます。

ワークライフバランスの推進

SanDen Manufacturing Poland Sp. z o.o. (以下SMP)のCSR方針には、出産、育児をする女性社員を会社がサポートすることを明記しています。このCSR方針に基づき、SMPでは、新たに出産や育児をする女性の働く時間と報酬について制定しました。



SMP担当者

出産した女性は、職場復帰前に「トレーニング&復帰週間」として、健康チェックや職場復帰のためのトレーニングを受けることができます。また、妊娠4~6か月の女性は1日6時間勤務、6か月以降は5時間勤務で8時間勤務の給与を保障する、というものです。

外国人社員の継続的な採用

グローバル展開をさらに加速させるため、多様な人材の獲得と育成に力を入れています。その一環として、継続的に外国人の採用を実施しています。2013年度は3名、2014年度は2名、2015年度は1名の外国人を新卒で採用しました。

従業員数 (単位:名)






	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
従業員総数	2,435	2,427	2,414	2,658
女性社員数	245	264	275	302
執行役員	0	0	0	0
部長職	2	2	2	1
リーダー以上	5	6	6	10
外国人採用数(新卒)	2	6	3	2
障がい者数	48	59	68	76

※各年度3月末時点。
※サンデン単体の数値となります。
※重度障がい者は1名で2名算定としています。
※障がい者数には特例子会社雇用も含まれています。

Web [サンデン CSR 人材](http://www.sanden.co.jp/csr/disp.cgi?mode=detail&id=12) 検索



目標と実績

対象	項目	2014年度目標	2014年度実績	2015年度目標
 お客さま	品質管理	①グローバル組織横断型方針管理の徹底 ②事業の戦略課題の実現 ③SQMS(サンデン独自の品質マネジメントシステム)の構築	活動を通して、仕事の品質向上活動をグローバルに展開 ①グローバル組織横断型方針管理と戦略課題の実現活動を実施 ②継続的な製品品質、経営品質の向上 ③STQM世界大会を上海で開催	①グローバル組織横断型方針管理の徹底 ②事業の戦略課題の実現 ③SQMS(サンデン独自の品質マネジメントシステム)の構築
	サービス	仕事の整流化による価値提供体制最適化 ①物流配送の強化 ②チェックシートで課題抽出 ③ムダ削減による環境負荷低減 ④お客さまとの協業による物流効率の向上	①共同配送拡大、積載効率向上、タッチ回数低減 ②コンテナラウンドユースの拡大(空荷輸送の削減) ③引取り物流の実施、設置効率化による回転率向上	地球環境へ配慮した物流活動の推進 ①ECOカーの使用率の向上 ②工場調達物流再編による使用輸送便の削減 ③コンテナラウンドユースの拡大
 社員	人材育成	①幹部社員に対する管理知識・技術教育の実施 ②サービス技術専門教育による事業経営者育成の実施 ③次世代経営者育成のための経営塾 第2期開講	①中堅管理職・中堅組合員を対象とした階層別教育の実施 ②経営塾 第2期開講 ③グローバル人材育成に向けた海外派遣研修実施	①新任管理職を対象とした管理能力向上研修開始 ②教育体系の再構築を通じた人材育成・能力開発のさらなる強化実施 ③グローバル人材育成に向けグローバル拠点間の人材相互派遣開始
	ダイバーシティ	①2014年度定年者 再雇用希望者の再雇用先確保100% ②次世代経営者育成のための経営者基礎研修への女性参画	①再雇用先100%確保 ②ダイバーシティ宣言および女性フォーラム開催 ③中期ビジョン、女性管理職登用数値目標の設定 ④経団連HP等への自主行動計画掲載による経営目標の開示	①再雇用者のさらなる活用を目的とした評価制度の見直し ②2020年女性管理職12%に向けた積極的登用 15年度 15名 2.0%
	安全衛生	OHSASの定着と徹底による快適な職場環境の構築 ①日常管理項目チェックリスト展開 ②メンタルヘルス教育の継続とセルフケアの徹底 ③衛生健康リスクアセスメント活動の徹底	①OHSAS取得:国内全拠点取得完了、海外拠点23拠点中18拠点取得 ②拠点別安全活動評価指標構築とPDCA標準化 ③管理監督者の安全衛生教育体系構築と教育実施 ④メンタルヘルス管理監督者教育[初級編]の実施 ⑤安全衛生セルフケア通信発行による一人ひとりの気付き促進 ⑥衛生健康アセスメント指標構築と展開	【安全】安全感覚・意識の向上 ①リスク発見キャンペーン展開による意識向上 ②危険体験ブースによる安全感覚向上 【衛生】管理監督者教育強化と一人ひとりの健康行動促進 ①メンタルヘルス管理監督者教育[実践編]によるラインケア強化 ②メタボ改善キャンペーン展開による健康意識・改善行動促進
 株主・投資家	コミュニケーション	①決算説明会実施 ②工場見学実施 ③カバレッジのアナリスト拡大 ④海外向けIR情報の充実 ⑤経営トップによる海外IR活動(欧米)	①経営トップによる決算説明会実施 ②工場見学会実施(サンデンロード) ③カバレッジアナリストの拡大 アナリストレポート32本(対前年+6本) ④海外向けIR情報の充実 海外投資家との面談、電話会議実施29社 ⑤経営トップによる海外IR活動 北米 16社、欧州 18社	①経営トップによる決算説明会実施 ②工場見学会実施 ③カバレッジアナリストの拡大 ④海外投資家向けIR活動の充実 ⑤経営トップと株主・投資家との対話機会拡大
 地域社会	地域貢献活動	グループ全拠点において地域と連携を図った社会貢献の推進	グローバル各拠点で社会貢献の実施 ①児童養護施設への支援 ②障がい者団体支援 ③児童・学生へのビジネス指導 ④清掃活動	グローバル全拠点において地域と連携を図った社会貢献の推進
 取引先	CSR調達展開	①チェックシートをベースにしたヒアリングによるグローバル課題の抽出 ②グローバルに取引のある取引先との連携強化 ③取引先との共同開発の検討による新製品の競争力強化	①MPS業務における必要要件の明確化、業務監査とレベル評価の実施 ②G-CF会での経営方針・MPS方針の展開と、『将来技術展示会』による取引先との技術交流実施 ③『取引先・強み自慢技術提案会』開催による共同開発テーマ抽出と新製品への展開	①CSR調達の推進拡大によるサプライチェーンの競争力強化 ②経営トップの主要取引先訪問と課題の抽出 ③グローバルに取引のある取引先との連携強化と信頼関係構築
	コミュニケーション			

※上記「対象」のもととなっている「企業理念」はP1に掲載されています。